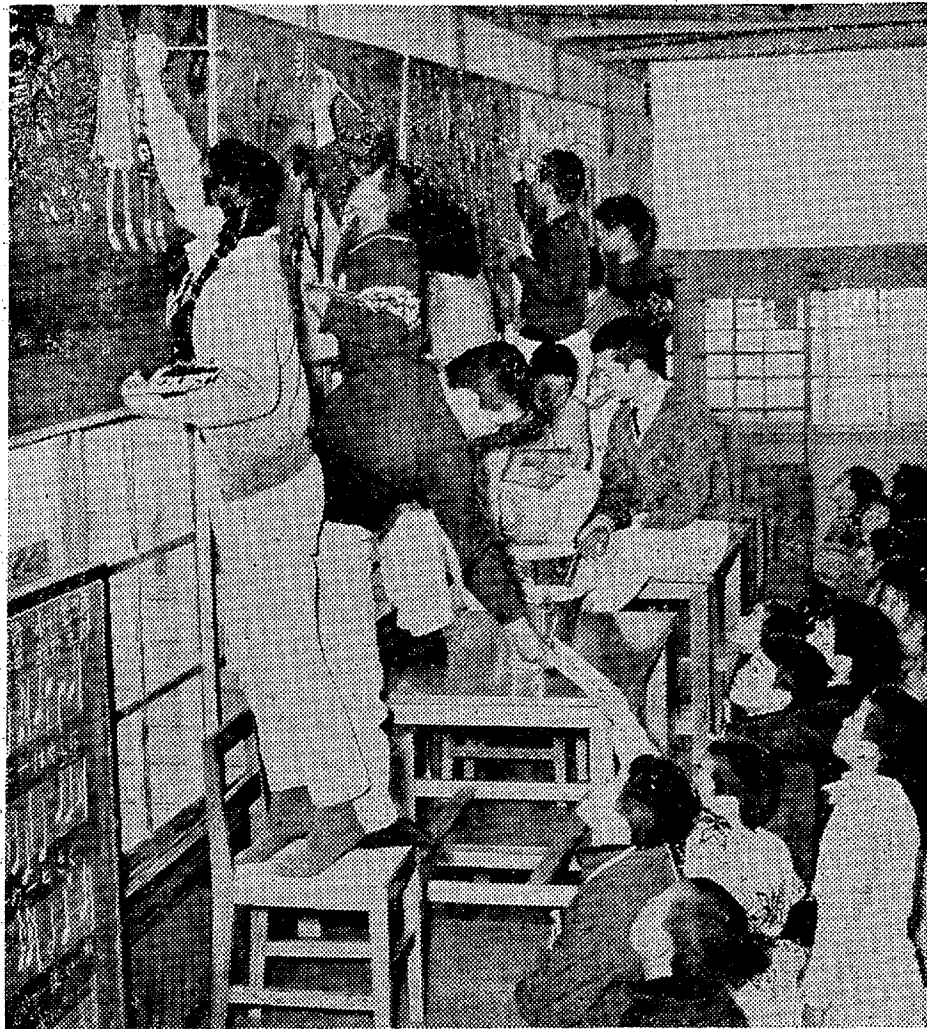


壁面「四季の子ら」の一部と卒業生たち
校舎のつらに赤井嶽が見える



毎日放課後 先生の指導で制作を続けているが、下級生も熱心に描きあがってゆく絵を見つめていた(校舎を結ぶ中廊下)

土曜特集



わずか10本の吉野ザクラの植樹だが 卒業生が成人したころには、美しい花をほころぼせることだろう

植樹と壁画の制作

好間四小で卒業記念に

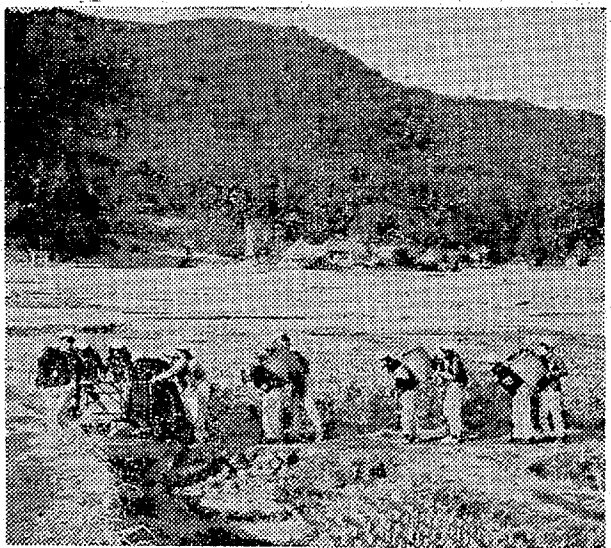
○いわき市好間町大和字戸作田、赤井嶽のふもとにある好間第四小学校(中田正巳校長)では、こし十四人(男女とも七人)の卒業生をおくるが、二十三日の卒業式を前にして、卒業生たちは、記念に残す壁画の制作、サクラの植樹にいそいそである。

○同校は、大学教員児童数は百三人、職員九人の小規模校、こし卒業する生徒たちは、記念に何か意欲あるものを残そうと相談した。その結果、壁画とサクラの苗木を植えることに決まった。お金はないけれどもいれかけまいと、三学期が始まるまでに、贈品回収をやり父兄の協力もあって四千九百円の資金をつくった。

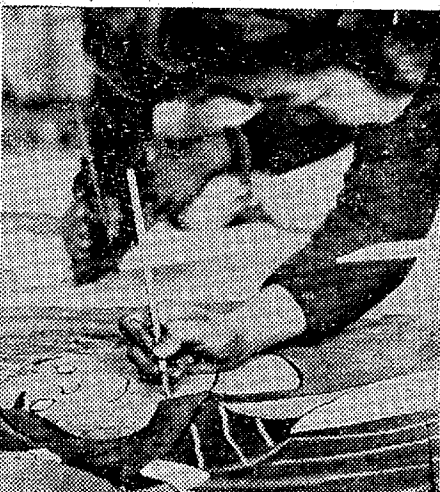
○一月中旬に、ペンキ板、ニス、ハケなどを買い、絵具は各自持ち寄り、まず壁画の制作にかかった。縦一辺、幅〇の大きなもので、こしの四季のおおりの夢を絵で描いた。四季の「春」と、縦二辺、幅三・五の「夏」は、卒業生の友情をいかし、「日まの」の二作をこどもたちが独自の想像を描きこの七日には完成させた。

○指導にあたった六年担任黒木孝明教師は、絵具にまみれながら、そのできばえを自分自身で描いているが、制作には、一枚の絵に性格のまったくと描かされた。たすの「ユビ」で描かれたの、ともユニークな作品になったと感嘆を語っていた。

○サクラの苗木は、耕士じゅうじゅうとして、赤井嶽の眼前に好間校庭にそって十本植樹するが、こどもたちは、美しく咲かすの花を胸に夢を築き、いっしょに育つ。とかく念がけでも無難なものがち卒業記念品が多見られると、ここのまなこは、自分されるが、中田校長も、「いなかのこどもも、何事もあれば都会の子に負けては行かぬと、だてに自信がうたいた。でも、大きな効果があった。思いう」と、心のこもった記念品の制作に余念がない児童たちを見ながら語っていた。



資金づくりのため 何キロも離れているとなりからとなりへと、ピン 吉新聞などの商品を運んで回った



ひとふで ひとふでに真心こめて...

ダイコクヤ6階に
熱帯魚
海水魚
売り場新設!

◆ご家庭に オフィスに夢を……
◆お子様の社会科の勉強に……
◆趣味と実益の動くアクセサリ……
◆喫茶店・レストラン・ホテルなどに……
◆飼育相談 設計見積もりはいっさい無料で承ります アフターサービスも万全です

●上野水族館御用
根岸サンゴ園直売による
東北一安く良い製品
全国で信頼されている<ニッソーの付属器具>と海外直輸入の熱帯魚 海水魚の珍魚を いっぱいそろえました。20年の研究と経験をもつ専門の係員が何でもご相談承ります。ぜひご覧下さい

●盆景材料と盆石 水石もはじめました

皆様の利益を護る店
大黒屋
ダイヤモンドストア

いわき市平三町目・電話(代)2191<水曜定休>

